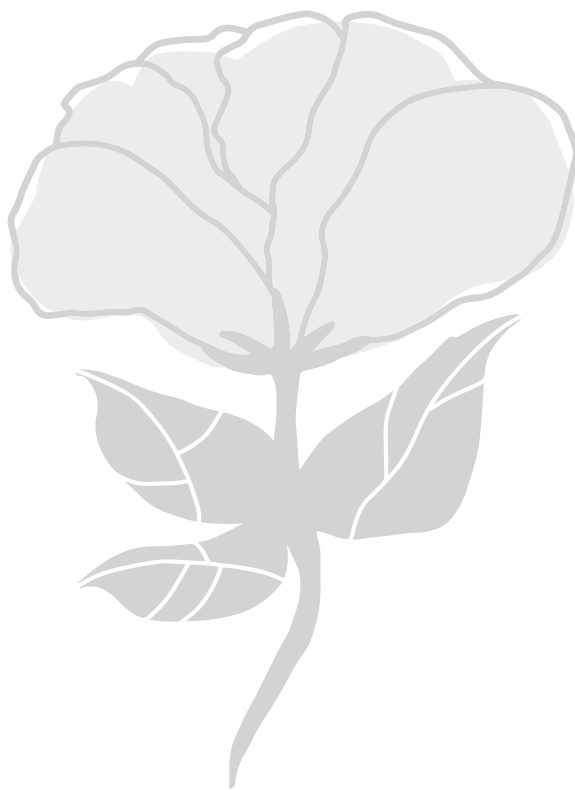


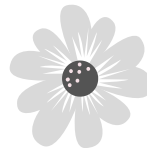
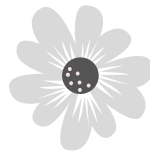
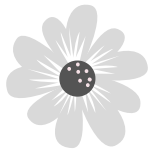
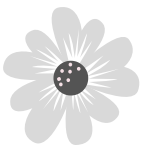
茨城キリスト教学園 2021年度

Homecoming Day



2021年7月3日(土)

茨城キリスト教学園2号館小礼拝堂



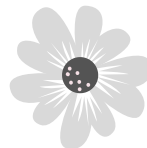
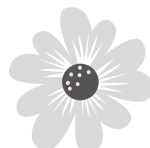
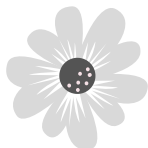
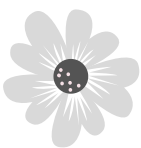
御挨拶

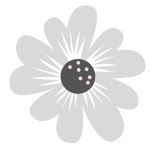
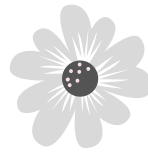
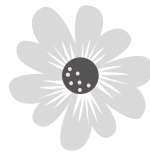
本日は「茨城キリスト教学園ホームカミングデイでの演奏会」にお越しくださいます。誠にありがとうございます。この度の新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、様々な制限がかかる状況の中、演奏をさせていただけることに大変感謝致しております。一日でも早くこの事態が収束し、平穏な日々の生活を取り戻せるよう心から願っております。

本日は日本の親しまれている曲から、聴き馴染みのあるクラシック音楽、さまざまな国の音楽、そして私たちの大好きな北欧の香りを生かしたプログラムとなっています。旅行に行けない今だからこそ、耳で楽しめるよう時代や風土の違いを味わうと共にそれぞれの音楽の良さを感じて頂けたら幸いです。まだまだ未熟な点は多いと思いますが、一曲一曲、母校に恩返しのお気持ちを込めて演奏させていただきます。どうぞごゆっくりお楽しみください。

最後になりますが、本日の会を開催するにあたり、関わってくださった多くの方の賜物に深く御礼申し上げます。

小林日和 大越菜奈





program

◇E.エルガー作曲：愛のあいさつ

◇T.アウリン作曲：4つの水彩画より 牧歌

◇J.マスネ作曲：タイスの瞑想曲

◇A.アダン作曲：さやかに星は煌めき

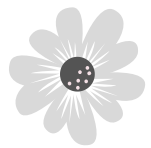
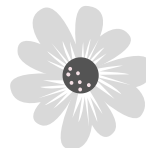
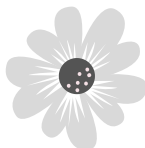
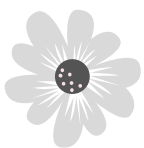
◇J.シベリウス作曲：悲しきワルツ 作品44

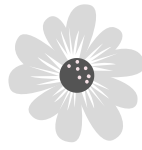
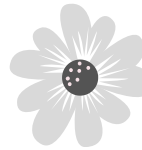
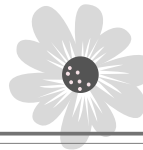
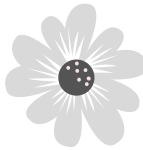
◇越谷達之助作曲：初恋

◇服部隆之作曲：真田丸メインテーマ

◇菅野ようこ作曲：花は咲く

◇V.モンティ作曲：チャルダッシュ





曲目解説

◇E.エルガー作曲:愛のあいさつ(イギリス)

皆さんこの曲をよくご存知だとも思いますが、この曲にはとっても深い裏話がありまして…エルガーは29歳の時にキャロライン・アリス・ロバーツという弟子をとることになります。のちに二人は恋仲となりますが、キャロラインの親族は身分の差や宗教の違いから二人の仲を認めなかったため、反対を押し切った結婚でした。妻となったキャロラインは、彼を社会的、精神的に、さらに音楽の面でも助言を与えるなどして支えており、エルガーはそんな彼女に1888年、婚約の贈り物として「愛の挨拶」を捧げました。なんて素敵な話なのでしょう…*

当時は今も多くの人に親しまれる楽曲で、この曲は大切な人を想う優しく甘やかな喜びに溢れていて、妻を愛する気持ちが作品の中からとても伝わってくる曲です。

◇I.アウリン作曲:4つの水彩画より 牧歌(スウェーデン)

アウリンはスウェーデンのヴァイオリニストで作曲家や指揮者も務めた音楽家です。3つのヴァイオリン協奏曲をはじめ、北欧の独特な香りのする旋律で室内楽曲や管弦楽曲を多く残しました。今回演奏するのは"4つの水彩画"の中の第1曲目で、題名の通り自然豊かな草原を歩いている中で様々な景色に出会いを感じる素敵な曲です。へ長調で作曲されており、題名や出だしの旋律がベートーヴェンの田園交響曲を連想させますが、展開をしていくにつれ全く異なるドラマチックな雰囲気へ向かい魅力的な音楽となっています。目を瞑って北欧の香りを耳で感じていただけたらと思います。

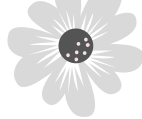
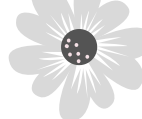
◇J.マスネ作曲:タイスの瞑想曲(フランス)

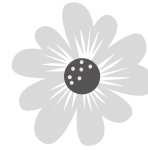
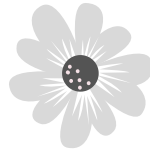
オペラ『タイス』の第2幕の第1場と第2場の間で演奏される器楽の間奏曲として演奏されますが、近年ではこの曲の美しさに演奏会小品として単品でよく演奏されます。この曲を少しでも知っていただきたい為、少し長文になってしまいますがザッとあらすじを書かせていただきます！

修道僧のアタナエルは、人を堕落させるほど美しい魅力を持つ娼婦のタイスを何とかキリスト教へ改宗させ、神の道へ導きたいと考えます。愛と美の女神ヴィーナスを信奉するタイスは聞く耳を持ちませんがそうは言いつつ、華やかに見えてもどこか虚しい日常や、いずれは老いて失われていく自身の美しさに内心不安が募っていき、アタナエルの永遠という言葉に心が揺らいだタイスは、長い瞑想の末に神に仕えるためアタナエルについて行く決心をします。ここで演奏されるのがタイスの瞑想曲です。

その後、神に仕えると決めたタイスは家も持ち物も全てを灰にして俗世に別れを告げ、修道僧に戻る為修道院にタイスを託したアタナエルでしたが、タイスのことが頭から離れません。ある日アタナエルは美しく妖艶な姿のタイスの姿が夢で死を予兆し驚いたアタナエルは、タイスを託した修道院へと急ぎ、タイスに再会しますが、彼女は憔悴しきって身体を起こす事さえ出来ません。贖罪のために3ヶ月もの間、眠らずに祈り続けたからです。アタナエルを見て弱々しく微笑むタイスに「私は君に嘘をついた！愛だけが真実だ！天国なんてないんだ！タイス、君を愛している！」と告げます。すでに死の床にあるタイスはキリスト教の教えの通り、たくさんの花束を抱えた天使たちが自分を迎え入れてくれることを思い描きながら天国へ旅立ちます。娼婦であったタイスが信仰を貫き通したとき、信仰の道を歩んできた修道僧のアタナエルが俗世の感情に支配されるというシニカルとも言える結末を迎えます。

結末に対しては様々な感想があると思いますが、瞑想曲に関しては私の想像するタイスの美貌を音楽で皆さんと共有できたらと思います。





◇A. アダン作曲: さやかに星は煌めき(フランス)

フランスの作曲家アドルフ・アダン作曲のクリスマス・キャロル。フランス語詩を見ると「真夜中だ、キリスト者らよ。(Minuit, chrétiens.)」の呼び掛けに始まり、より厳格で古典的な響きを感じます。今日では英訳されたものが広く知られ、日本でも賛美歌第二編、聖歌817番にも収められ親しまれています。クラシカルな歌唱からジャジーでオシャレなサウンドまで、実に多くの名演奏が存在しています。

ちょっと季節はずれですが、私はこの曲はやっぱりこの学校を思い出させる曲の一つです。この学園の学生の時から小礼拝堂でいつかこの曲を演奏したいと思い、今日念願叶って演奏できるのを嬉しく思います。

◇J. シベリウス: 悲しきワルツ 作品44(フィンランド)

シベリウスの義兄の劇作家アルヴィドが作った戯曲「クレオマ(死)」の上演に際して作られ、劇の上演後には演奏会用として編曲され、今日でも様々な編成(特にオーケストラ)で演奏されています。

この曲の物語には「病が重く死が目前に迫っている婦人が眠っていると、夢現に音楽がきこえてくる。踊り子たちが部屋を埋め尽くすと、思わず起き上がり幻の客と一緒に彼女も踊りの中に加わるが、くたくたになってしまう。踊り子たちがいなくなると、再び彼女は踊り始め、死神が亡夫に姿をやつして彼女に言い寄るが、やがてクライマックスに達したところで死神の3回扉を叩く音によってワルツの夢は破られる。そこには、踊りのパートナーの姿は消え、戸口に死の影が立っている。」という内容が様々なシーンで音で語られています。名前の通りハッピーエンドではないですが、音楽が物語を動かす面白さに皆様を引き込めるよう演奏に努めたいと思います。

◇越谷達之助作曲: 初恋

さて、色々な国の音楽に触れてきましたが次は日本の歌曲になります。私はこの曲に大学の声楽の授業で出逢ったのですが、石川啄木の作った、たったの5行の詩に、初恋独特の甘酸っぱくてどうしようもない恋の感情や、遠くにいる人を恋い慕う憧憬が詰まっていて、さらに越谷達之助の描いた音と融けあってなんですてきな曲なんだろうと一目惚れならぬ一耳惚れでした。色々な世界の音楽に触れても、この曲を聴くと日本語の良さ、美しさ上品さに改めて気付かされました。

今回は弦楽器、ヴァイオリンという言葉は発せない楽器で演奏致しますが、この曲を自分のものにしていく間、心の中で皆さんはどのような初恋をされたのかな、懐かしく想出だして胸がキュッとなってくださったら嬉しく思います。

初恋

石川啄木 作詩

砂山の砂に 砂にはらばい

初恋のいたみを

遠くおもい出(い)ずる日

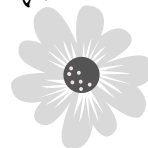
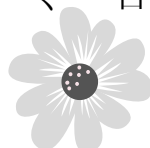
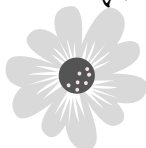
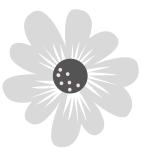
初恋のいたみを 遠く遠く

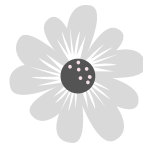
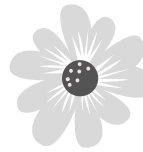
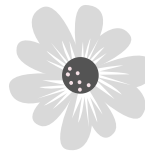
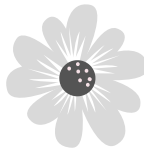
ああ おもい出ずる日

砂山の砂に 砂にはらばい

初恋のいたみを

遠くおもい出ずる日





◇服部隆之作曲:真田丸メインテーマ

2016年の大河ドラマ「真田丸」で使われたオープニングに流れるメインテーマは「泥臭く、骨太に」を根本において制作されたそうです。ヴァイオリンのソロ演奏が印象的でありますが、そこには服部さんのこだわりがあり、ヴァイオリン特有のスピード感や高揚感により孤高の厳しさと土着感を感じさせ、ワイルドさを表現したとコメントされています。気づいたら徳川家康の前に立ちはだかっていた、という主人公・真田信繁（幸村）の機動力・泥臭さ・そして孤高の厳しさなど、キャラクターとばっちり重なるような演出をバイオリンのソロで表現されています。バイオリンの特性である、うねりなどの人間臭い部分を引出し、しかし、繊細にして骨太という相反する音色は、戦国時代の壮大さや混乱など、時代の背景を表現できればと思います。一回聴いたら耳から離れないくらい力強い印象のこの曲は、現代のクラシック音楽の面白みを引き出してくれると思います。

◇菅野ようこ作曲:花は咲く

今回この曲を選んだのは震災もそうですが、今、世の中で起きている色々な弊害の中でも、希望の光を皆さんと見つめて少しずつ前に進める応援に繋がればいいなと思い、選曲いたしました。

幾度もお聴きしていると思いますが今一度、歌詞を見つめ直すと何か自分の人生においても大事なことを語られているような気がして、この曲の偉大さを思い知らされます。

今日は歌えませんが、心の中で歌ってくださったら嬉しいです。

真っ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい あの街を 思い出す

叶(かな)えたい 夢もあつた

変わりたい 自分もいた

今はただ なつかしい あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましている
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に

花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう

夜空の 向こうの 朝の気配に
わたしは なつかしい あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて

報われず ないたりして

今はただ 愛(いと)おしい あの人を 思い出す

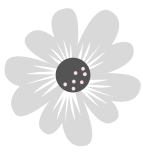
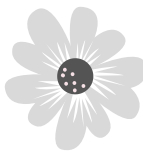
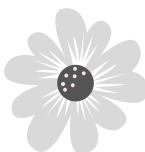
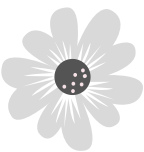
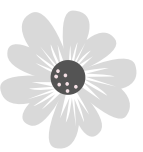
誰かの想(おも)いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に

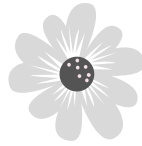
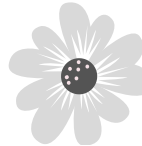
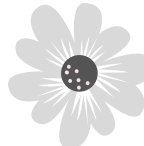
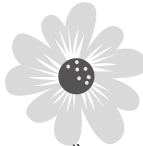
花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に

花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に

花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために





◇V.モンティ作曲:チャルダッシュ(イタリア)

最後にお送りいたします、このチャルダッシュ、聴いたことがある方も多いと思いますが、この“チャルダッシュ”とは、何のことだと思いますか？



ハンガリーのジプシー風民族舞曲のことをいい、特徴として「ラッサン(遅い部分)」と「フリスカ(速い部分)」があり、「ラッサン」は部分は哀愁をもって演奏されます。

チャルダッシュの由来は“csárda(チャールダ)”という言葉で「酒場」を表すのに使われたそうです。

…ということは、まあ普通に楽譜通りに弾いたら面白くないのです。悪魔で題名に“酒”がついているようなものなので音楽に酔って演奏しなさいとモンティさんから私たち奏者への1つのメッセージなのではないかなと思います。世にはたくさんのチャルダッシュが出ています。今日の私たちが奏でるチャルダッシュは、どんな“チャールダ”を見せられるか、挑戦したいと思います！



profile

Higori Kobayashi



茨城県東海村出身。茨城キリスト教学園高等学校卒業。昭和音楽大学弦管打楽器演奏家コース卒業、現在、昭和音楽大学大学院音楽研究科音楽芸術表現専攻修士課程弦・管・打楽器コース1年に在籍。2013年~16年東京ジュニアオーケストラソサエティに所属。準メルクルヴァイオリン貸与プロジェクト一期生、ヴァイオリン貸与三期、四期生。第26回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。第29回茨城の名手名歌手たち出演。これまでに、ヴァイオリンを谷口和子氏、室内楽を菅野 博文、松実健太、瀬川光子各氏に師事。現在、岩崎裕子、篠崎史紀各氏に師事。

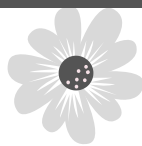
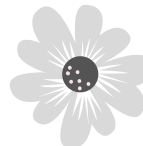
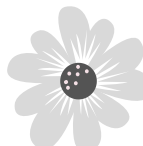
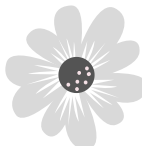
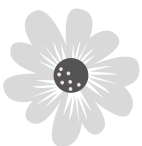
小林日和

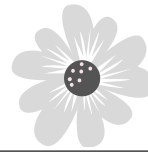
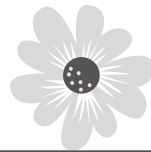
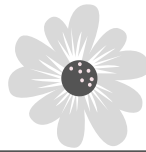
Nana Okoshi

茨城県日立市十王町出身。東京音楽大学附属高等学校卒業。東京音楽大学ピアノ演奏家コース4年在学中。第23回日本クラシック音楽コンクール中学生部門にて全国大会入選。第26回ヤングアーティストピアノコンクールF部門ファイナルにて優秀賞受賞。同年第1回ギャラクシティ音楽コンクール専門部門にて第1位受賞し音の泉管弦楽団とグリーグピアノ協奏曲を共演。これまでに山崎裕、室内楽を松本和将 現在石井克典、仲田みずほの各氏に師事。



大越菜奈





●今後の活動予定●

◇令和3年9月26日(日)にヒロサワシティ会館大ホールで開催される茨城県新人演奏会へ出場します。ぜひお越しください♪

◇また、今私(小林)勉強している川崎市にある大学院での公演も宣伝させてください！(感染症対策の為客席は半減での案内となっております！スタッフ、出演者共に万全に対策しながらの公演となっておりますのでぜひご興味ございましたらいらしてください♪)

♪サマーミュージア公演

開場:ミュージア川崎シンフォニーホール
2021年8月8日(日・祝) 15:00開演
(14:15開場)

曲目:ベートーヴェン:交響曲 第8番
ストラヴィンスキー:

バレエ音楽「火の鳥」組曲 他

※8月末まで見放題！オンライン鑑賞でコンサートがぐっと身近に！高音質・高画質の映像配信で会場の臨場感を、日本全国どこからでもお楽しみいただけます。詳しくはサマーミュージアのホームページか、小林まで♪

♪昭和音楽大学オペラ公演

開場:テアトロジューリオショウワ

10月 9日(土)

10日(日)

[両日14:00開演(13:15開場)]

演目:モーツァルト作曲

コシ・ファン・トゥッティ

♪昭和音楽大学管弦楽定期演奏会

開場:テアトロジューリオショウワ

曲目:G. マラーノ交響曲第1番二長調
他

11月23日(火) 14:00開演(13:15開場)

♪音大オーケストラフェスティバル

曲目:G. マラーノ交響曲第1番二長調

開場:東京芸術劇場

11月27日(土) 時間未定

♪メサイア全幕公演

曲目:G.F. ヘンデル作曲

オラトリオ「メサイア」

英語歌唱(日本語字幕付)

14:00開演(13:15開場)

2021/12/11(土) 15:00開演

開場:テアトロ・ジューリオ・ショウワ

♪何か質問等ございましたら

小林日和

kobahiyo.violin@gmail.com まで

ご連絡いただければと思います♪

